

## 次世代モビリティ 法整備の海外最新動向

開催日時:2018年11月13日(火)13:30~18:00 / 場所:ホテルオークラ東京 オーチャードルーム

Time	Topic	Speaker
13:30~13:35	開会のご挨拶	達野大輔(東京) パートナー、自動車産業グループ
13:35~15:05	<b>ASEAN 地域における法整備の最新動向</b> <b>(タイ、マレーシア、インドネシア、シンガポール)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li> <b>ライドシェアビジネスの現状</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>先行プレイヤーはどのように ASEAN マーケットに進出しビジネスを行っているか、ライドシェアから決済ビジネスなど周辺事業への拡張</li> <li>法整備の最新状況-規制は強化傾向にあるのか? 収益に対する課税は?</li> </ul> </li> <li> <b>電気自動車</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>EV シフト政策(補助金やガソリン車販売規制)の動向、EV シフトが進んでも ASEAN が主要生産拠点であり続けるためのポイントは</li> <li>他国からの EV バッテリーや EV 完成車の輸入に関する規制</li> <li>インフラ整備に関する規制</li> </ul> </li> <li> <b>コネクテッドカー</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>インフラ整備等</li> </ul> </li> </ul>	モデレーター: 達野大輔(東京) パネリスト: Nam-Ake Lekfuangfu (バンコク) Kelvin Hong (クアラルンプール) Riza Buditomo (ジャカルタ)
15:05~15:15	休憩	同上
15:15~16:15	<b>モビリティ 2.0 - 業界大変革と CASE の本当の意味</b> 自動車は「スマホ化」し、エコシステムとデータが主役となる時代へ。業界大変革の背景にある、世代・時代・社会の3つのメガトレンドの変化を説明し、旧来の発想とはまったく異なるパラダイム転換のメカニズムを解き明かす。	<b>深尾三四郎氏</b> 株式会社浜銀総合研究所 調査部 主任研究員
16:15~16:25	休憩	同上
16:25~17:55	<b>EU、米国、中国における法整備の最新動向</b> <ul style="list-style-type: none"> <li> <b>自動運転</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>自動運転規制の現状-テスト走行および実走はどこまで可能か</li> <li>自動運転車に関する規格策定の動向</li> <li>自動運転車による事故発生時の責任分担に関する議論の状況</li> <li>フライングカー(空飛ぶ車)に関する規制とビジネスの可能性</li> </ul> </li> <li> <b>電気自動車</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>EV シフトの動向。これを推進する EU に対し、米国では逆行するののか。</li> <li>中国における NEV 規制と電池におけるホワイトリストの拡張可能性</li> </ul> </li> <li> <b>コネクテッド</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>コネクテッドカーにおける通信規格、インフラ整備等</li> <li>データの収集・加工と個人情報保護規制(特に GDPR)の関係</li> <li>集積したデータの利用に関する競争法上の議論</li> <li>5G 利用に関連する特許とロイヤルティ支払の問題</li> </ul> </li> </ul>	モデレーター: 穂高弥生子(東京) パネリスト: Ulrich Ellinghaus (フランクフルト) Jennifer Trock (ワシントン DC) Zhenyu Ruan (上海)
17:55~18:00	閉会のご挨拶	穂高弥生子(東京) パートナー、自動車産業グループ
18:00~19:00	ネットワーキング・カクテル	